

Water Congress & Exhibition 2016 Brisbane 参加のための渡航費用等を助成した。

[14] その他の事業活動

1. セミナー等の開催

(1) 第25回市民セミナー

- 1) テーマ：温暖化、水とくらしはどうなる？どうする？(Ⅲ)～生活目線での適応策～
- 2) 開催日：平成28年8月5日(金)
- 3) 場 所：東京会場：地球環境カレッジホール(東京都世田谷区)
大阪会場：いであ(株)大阪支社ホール(大阪市住之江区)
- 4) 参加者：東京会場68名、大阪会場32名

(2) 第62回日本水環境学会セミナー

- 1) テーマ：生物を用いた水環境の評価・管理(改善)手法(日本版WET)の最新動向と今後の展望
- 2) 開催日：平成29年1月30日(月)
- 3) 場 所：自動車会館大ホール(東京都千代田区)
- 4) 参加者：93名

2. 見学会の実施

(1) 第31回見学会

- 1) 開催日：平成28年11月18日(金)
- 2) 場 所：アサヒビール茨城工場(茨城県守谷市)
農林水産省植物工場 千葉大学拠点(千葉県柏市)
- 3) 参加者：16名

3. 水環境懇話会の開催

(1) 第40回水環境懇話会

- 1) 開催日：平成28年7月8日(金)
- 2) 場 所：日本大学理工学部駿河台校舎(東京都千代田区)
- 3) テーマ：水質モニタリングの新技术と災害時の緊急対応について
- 4) 参加者：28名

(2) 第41回水環境懇話会

- 1) 開催日：平成28年12月19日(金)
- 2) 場 所：日本大学理工学部駿河台校舎(東京都千代田区)
- 3) テーマ：下水処理制御用のアンモニアセンサーおよびオンライン水質センサの最新動向
- 4) 参加者：21名

4. その他

- (1) 関連学協会の講演会等を協賛・後援した。
- (2) IWA 団体会員の会費支払手続きを代行した。
- (3) 日本学術会議と連携して活動する防災減災・災害復興に関する学会ネットワーク「防災学術連携体」参加学会として、防災学術連携シンポジウムのセッションに参加した。

◇活動報告

現在、公益社団法人日本水環境学会には、7つの支部と21の研究委員会があり、それぞれ活発な活動を続けています。これらの活動を広く会員の方々に知っていただくため、前年度の活動報告をご紹介します。ご参考までに連絡先リストも掲載いたします。皆様の研究活動発展の一助になれば幸いです。

平成28年度支部活動報告

▼北海道支部

1. 幹事会・総会

- 第1回幹事会
平成28年7月21日、北海道大学、出席12名
議 題：見学会、東北支部との合同企画、支部表彰、2017年度年会
- 第2回幹事会
平成28年11月1日、北海道大学、出席10名
議 題：2017年度年会、WET2017、東北支部との合同企画、支部表彰、功労賞、規約の変更
- 第3回幹事会
平成29年3月8日、北海道大学、出席8名
議 題：2017年度年会、WET2017、支部表彰、功労賞、規約の変更、新年度計画、幹事投票

開票

2. 第3回活性化WG

平成28年4月11日
支部表彰、支部活性化案の検討

3. 支部見学会

平成28年8月20日、参加者29名
豊羽鉦山坑水処理設備、豊平峡ダム、豊平川水道水源水質保全事業を見学

4. 第一回日本水環境学会北海道支部・東北支部合同企画

平成28年11月19日、参加者12名
会 場：函館工業高等専門学校
プログラム

研究発表「有用微生物の高度利用による循環型社会形成推進および地域産業の活性化」
企業紹介「建設コンサルタントの仕事」

北海道支部活動紹介

東北支部活動紹介「東北・水すまし賞の取り組みと東北支部における水環境文化賞を推薦する仕組みと実績」

東北支部活動紹介「10年間開催してきた人工湿地ワークショップ（北海道と東北で交互に開催）について」

意見交換会

特別講演「福島原発事故関連の講演」

懇親会

5. 支部表彰「クリオネ賞」

札幌市「西岡さかな組」にクリオネ賞を授与

6. 支部作製 DVD の頒布

水質測定教材「水環境をまもる～河川での採水と現地測定～」を販売

▼東北支部

1. 幹事会

・第1回幹事会

開催日：平成28年5月30日（月）

場 所：仙台市福祉プラザ 第一研修室

出席者：17名

内 容：総会・講演会、2016年度活動計画等

・第2回支部幹事会

開催日：平成28年10月28日（金）

場 所：八戸ポータルミュージアムはっち1階シアター1

出席者：11名

内 容：支部セミナー、支部研究発表会、水環境文化賞候補の推薦、第19回日本水環境学会シンポジウム秋田開催報告等

2. 支部総会

開催日：平成28年5月30日（月）

場 所：仙台市福祉プラザ ふれあいホール

3. 支部講演会

開催日：平成28年5月30日（月）

場 所：仙台市福祉プラザ ふれあいホール

参加者：41名

内 容：

【講演】震災を乗り越えて～仙台市南蒲生浄化センターの新たな出発～「南蒲生浄化センターの震災復旧を教訓に私たちが伝えたいこと」

全環衛生事業協同組合事務局長 石川敬治氏

【見学会】仙台市南蒲生浄化センター

4. 第19回日本水環境学会シンポジウム

開催日：平成28年9月13日～15日（15日は現地見学会）

場 所：秋田県立大学秋田キャンパス

参加者：380名

内 容：研究委員会セッション17、本部企画、特別講演会、企業展示、ランチョンセミナー、メタウォーター賞受賞者講演、若手研究紹介（オルガノセッション）、現地見学会（八郎湖、男鹿半島周辺）等

* 詳細は、学会誌 Vol.40 (A), No.1 (2017) に掲載

5. 支部企画（第19回日本水環境学会シンポジウムにて開催）

開催日：平成28年9月14日（水）

参加者：51名

テーマ：震災・防災と水環境

特別講演会：

「津波防災とそれに関わる水環境の例」

秋田大学 松富英夫氏

「東日本大震災からの復旧過程における問題と課題～下水処理施設維持管理の視点から～」

宮城県下水道公社仙塩浄化センター 鹿野信宏氏

6. 支部セミナー

開催日：平成28年10月28日（金）

場 所：八戸ポータルミュージアムはっち1階シアター1（青森県八戸市三日町11-1）

参加者：17名

テーマ：あおもりの水環境の現状と環境保全の取組
内 容：

「インターネット対応のweb型マップアプリを用いた児童・生徒による河川の水環境健全性指標調査について～七戸川と馬淵川を例にして～」

元青森環境管理事務所 三上 一氏

青森大学 角田 均氏 他2名

小川原湖自然楽校 相馬 孝氏

「小川原湖の水産資源と水環境」

青森県産業技術センター内水面研究所

静 一徳氏

「新しい糞便汚染指標の開発と蕪島海水浴場の糞便汚染」 八戸工業高等専門学校 矢口淳一氏

「青森・岩手県境産業廃棄物不法投棄事案における汚染地下水浄化モニタリング」

八戸工業大学 鈴木拓也氏

7. 支部研究発表会

第9回廃棄物資源循環学会東北支部研究発表会との合同発表会、さらに学会員推薦で非会員のNPOや高校生にも発表機会を提供。

開催日：平成29年2月11日（土）

場 所：東北大学大学院環境科学研究科本館

参加者：85名（うち学生・高校生は38名）

発表件数：口頭発表24件（うち本会11件）、ポスター発表21件（すべて本会）

表 彰：社会人・大学院生部門：最優秀発表賞（1件）、優秀発表賞（3件）、学部・高校生部門：最優秀発表賞（2件）、優秀発表賞（3件）を选考

参加費：学生は無料、社会人・教員は2000円

8. 研究会活動

・人工湿地研究会

第11回人工湿地ワークショップ2016 in 盛岡・花巻・雫石を開催

開催日：平成28年9月27～29日

場 所：アイーナいわて県情報交流センター 会議室（盛岡）（研修会・研究発表会）、花巻市・雫石町（現地研修会）

参加者：研究発表会76名、現地研修会56名

研修会・研究発表会：基調講演2題、研究発表11題

現地研修会：

「活性汚泥法と伏流式人工湿地による酪農パーラ排水処理」(花巻市(有)アグリファイン)
「高分子凝集剤と人工湿地によるメタン発酵消化液処理」((株)バイオマスパワーしずくいし)

- 水環境総合性指標研究会
全国で行われている活動の成果を可視化してインターネット上で共有するプラットフォームを構築することをめざし、「水辺のすこやかさ指標の利用状況調査」についてオンラインアンケートを実施(平成28年9月)
- 水ものがたり研究会
第15回 水ものがたり研究発表会
日時：平成29年3月18日(土)
場所：東北大学工学部土木大講義室・土木演習室
参加者：90名
講演：「ふるさとの水辺を考える～第一部 東北の地形の成り立ちと水環境、第二部 地形と地名から見る水環境と防災意識～」
東北大学大学院工学研究科 後藤光亀氏
研究発表の概要：高校生・大学生らによる口頭、発表2件、ポスター発表30件

9. 支部合同企画

北海道支部との親睦を図り、支部活動の活性化や情報交換を進めるために開催

開催日：平成28年11月19日(土)
場所：函館工業高等専門学校 中講義室
参加者：11名(うち東北支部4名)
会議概要：両支部の活動紹介、研究・企業紹介等

10. 「東北・水すまし賞」「東北・水環境保全賞」「みじん子賞」の選考・表彰の実施

- 東北・水環境保全賞(水環境文化賞推薦候補)の選考「川を知る会」(岩手県)
- 東北・水すまし賞候補の選考「甲地小学校」(青森県東北町)
「下伊場野小学校」(宮城県大崎市)
「藤木小学校」(秋田県大仙市)

▼関東支部

1. 支部総会

開催日：平成28年6月11日(土)
場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス
内容：活動報告、決算報告、活動計画・予算
出席者：27名

2. 幹事会

- 第1回幹事会
開催日：平成28年5月7日(土) 15:00～17:00
場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス
出席者：18名
内容：幹事の体制、活動報告・計画、みーず計画、支部表彰、官学による水環境評価(計画)、総会・特別講演会、平成30年度の年会(関東開催)
- 第2回幹事会
開催日：平成28年12月17日(土) 15:00～17:00
場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス

出席者：18名

内容：みーず計画(いであ訪問)報告、表彰対象推薦依頼、見学会の企画、リレーエッセイ、次年度の支部体制、第53回年会(平成30年度)開催場所、次年度の総会・特別講演会

• 第3回幹事会

開催日：平成29年2月24日(金) 10:30～11:30
場所：熊谷市立文化センター文化会館
出席者：13名

内容：次年度の支部体制、支部表彰、第53回年会(平成30年度)開催場所、シンポ開催地立候補について、みーず計画、

3. 支部主催行事

• 特別講演会

開催日：平成28年6月11日(土)
場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス
講師：猪又明子氏、小川かほる氏、和田里絵氏
テーマ：日本水環境学会関東支部における男女共同参画社会の取組について
参加者：32名

• 支部表彰

水環境保全活動奨励賞：栄東高等学校理科部
水環境保全活動特別賞：該当なし

• 支部見学会

開催日：平成29年2月24日(金)
場所：熊谷市ムサシトミヨ保護センター、滑川町エコミュージアムセンター
テーマ：希少魚の里を訪ねて～ムサシトミヨとミヤコタナゴ～
参加者：19名

• 関東支部「みーず計画」

開催日：平成28年12月14日(水) 14:30～16:50
場所：いであ(株)地球環境カレッジホール(東京本社)
テーマ：女子学生向け「水環境分野で活躍する女性の仕事や働きぶり紹介-いであ(株)訪問-」
参加者：34名

4. 平成30年度年会(平成31年3月開催)の準備

山梨大学での開催を予定

5. Webを通じた情報発信

支部幹事によるリレーエッセイの掲載および行事開催案内等の掲載

▼中部支部

1. 支部役員会

(1)第1回

開催日時：平成28年6月7日(火)～6月22日(水)
手段：メールによる書面決議(24名)
議題：(1)平成27年度事業報告および収支決算報告
(2)平成28年度事業計画(案)および収支予算(案)
(3)平成28年度支部役員選任(案)
(4)その他

(2)第2回

開催日時：平成29年1月24日(火)～1月31日(火)
手段：メールによる書面決議(18名)
議題：(1)平成29年度事業計画(案)および収支

予算(案)

(2)その他

2. 支部総会

開催日時：平成28年7月7日(木) 11:30~12:00
場 所：国土交通省水辺共生体験館 セミナールーム(河川環境楽園内)

出席者：20名

議 題：(1)平成27年度事業報告および収支決算報告
(2)平成28年度事業計画(案)および収支予算(案)
(3)平成28年度支部役員選任(案)
(4)その他

3. 施設見学会・支部研究発表会等

(1)勉強会

開催日時：平成28年7月7日(木) 13:00~14:00
場 所：国土交通省水辺共生体験館 セミナールーム(河川環境楽園内)

参加者：27名(うち非会員2名)

内 容：「TO式上向性ろ過池について」
尾崎 一郎 氏(岡田産業株式会社)

(2)施設見学会

開催日時：平成28年7月7日(木) 14:00~16:00
場 所：河川環境楽園内

参加者：27名(うち非会員2名)

内 容：①岐阜県水産研究所 施設見学
②世界淡水魚園水族館 アクア・トトギス
水質浄化バックヤード ツアー
小林由紀子 氏
(NPO法人 e-plus 生涯学習研究所)
岩井 辰水 氏
(河川環境楽園 自然発見館)

4. 支部連絡委員会への出席

(1)第1回支部連絡委員会

開催日時：平成28年11月4日(金) 10:00~12:00
手 段：WEB会議
出席者：支部担当理事(本部), 支部担当幹事(本部), 各支部幹事長

(2)第2回支部連絡委員会

開催日時：平成29年3月17日(金) 12:00~14:00
場 所：熊本大学(熊本県熊本市)
出席者：支部担当理事(本部), 支部担当幹事(本部), 各支部幹事長

5. その他

ホームページ更新

▼関西支部

1. 総 会

開催日：平成28年12月2日(金)
場 所：大阪工業大学うめきたナレッジセンター
内 容：活動, 決算, 役員, 活動予定, 予算報告
関西水環境賞, 奨励賞, 社会・文化賞の表彰式および受賞者講演

2. 理事会

開催日：平成29年2月1日(水)
場 所：大阪市立大学 梅田サテライト
内 容：決算・予算の承認および行事予定大綱の決定

3. 幹事会

平成28年5月18日, 8月23日, 11月21日,
平成29年1月20日, 3月29日に開催。

4. 支部講演会・第7回支部研究発表会

総会と同時に開催。総会・講演会・研究発表会参加者：64名

講演会：「熊本地震の被害と教訓」

熊本大学教授 川越保徳氏

発表会：ハイブリッド形式で, 29件の発表があった。
優秀発表賞として以下の3件の発表を選考し,
表彰状を授与した。

- 宮脇康平(大阪市立大学大学院工学研究科)他, 「大和川沿岸域における流下仔アユの分布エリアの推定と生息環境評価」
- 本間亮介(京都大学大学院工学研究科)他, 「固液分離を想定したUV/TiO₂の促進酸化法によるPPCPsの除去評価」
- 小野純子(大阪府立環境農林水産総合研究所)他, 「大阪湾における貧酸素水塊の発生に関する研究-海水中におけるDO消費率の測定の試み2-」

5. 研究部会活動

川部会, 化学物質部会, 環境モニタリング情報部会の活動を行った。

川部会：平成28年度支部活動優良賞受賞, 月例会の開催, 川歩き, リーフレット発行, 「環境技術」誌連載等。

化学物質部会：「MS基礎講習会 in 関西」を開催。

日 時：平成28年6月29日(水) 9:30~18:00

場 所：大阪工業大学うめきたナレッジセンター

参加者：46名

6. 見学会

開催日：平成28年11月25日(金) 午後

内 容：京都府営水道事務所木津浄水場, 京都府流域下水道事務所木津川上流浄化センター, サントリー京都工場を見学。

参加者14名。

7. 支部表彰の実施

関西水環境賞, 奨励賞, 社会・文化賞の三賞を公募, 選考し, 各賞の受賞者を決定し, 総会において表彰式, および受賞者講演を行った。

選考委員会：平成28年10月19日, 11月7日

表彰委員会：平成28年11月8日

表 彰 式：平成28年12月2日

受賞者

関西水環境賞：服部幸和氏

奨励賞：矢吹芳教氏

社会・文化賞：特定非営利活動法人環境教育技術振興会, 京都府立木津高等学校園芸部環境班

8. 講座の提供

平成28年度後期西宮市生涯学習大学「宮水学園」マスター講座「西宮の“水”~暮らしの水・六甲山の恵み・あなたの足元を流れる宮水~」へ関西支部から講座を提供した(全10回)。

9. 支部機関誌の発行

支部ニューズレター「かんすいNo.20」の発行。

▼中国・四国支部

1. 支部幹事会・総会

日 時：平成 28 年 5 月 20 日（金）12：00～13：50
場 所：松江テルサ（松江勤労者総合福祉センター）
研修室 1

平成 27 年度の事業報告、決算、会計監査報告について幹事会、総会において審議の結果、承認された。また、平成 28 年度の支部役員案、事業計画案、予算案についても幹事会、総会において審議の結果、承認された。合わせて、第 51 回日本水環境学会年会（平成 29 年 3 月）についての報告があった。

2. 地域分科会・講演会

1) 大気環境学会・日本水環境学会・廃棄物資源循環学会中国四国支部合同講演会

日 時：平成 28 年 5 月 20 日（金）14：00～17：00
場 所：松江テルサ（松江勤労者総合福祉センター）
4F 中会議室

「微量汚染物質のリスクと対策」と題して 3 件の依頼講演を実施。

2) 第 13 回水環境フォーラム in 岡山

平成 28 年 7 月 9 日（土）13：30～16：30
場 所：オルガ 5 階会議室「スカーレット」
（岡山市）

（財）おかやま環境ネットワークと共催。「水環境中の化学物質と生態影響」と題して計 4 件の依頼講演を実施。

3) 第 49 回水環境フォーラム山口

日 時：平成 28 年 9 月 10 日（土）13：30～17：30
場 所：山口県セミナーパーク研修室 101

計 4 件の一般講演および福山大学の渡辺伸一先生より「Ocean Ninja Monitoring Project：海洋生物を使った環境モニタリング手法」と題して特別講演を実施。

4) 第 14 回水環境フォーラム in 岡山

日 時：平成 28 年 12 月 3 日（土）13：00～16：45
場 所：オルガ 5 階会議室「スカーレット」（岡山市）
（財）おかやま環境ネットワークと共催。「資源・エネルギー循環の拠点としての排水処理施設」と題して計 4 件の依頼講演を実施。

5) 第 50 回水環境フォーラム山口（50 回記念討論会） （参加者：約 70 名）

日 時：平成 29 年 1 月 28 日（土）13：00～17：00
場 所：山口大学工学部 D 講義棟 D11 講義室

「海の汚染の最新動向」と題して 2 件の依頼講演、第 2 部で「学会支部活動への期待」として、京都大学の米田稔教授より「水環境学会関西支部活性化の秘訣」と題した講演とパネルディスカッションを実施。

3. 研究奨励賞の表彰

3 名の推薦があり表彰した。

4. 研究活動・発表助成

2 件の研究活動について助成した。

5. ニュースレターの発行

日本水環境学会中国・四国支部ニュースレター（Vol. 18_1～5）をメールで配信

6. その他

1) シンポジウム後援

「浅場の保全・再生の研究推進シンポジウム～浅場の保全・再生の未来～」(主催：宇部工業高等専門学校、平成 28 年 10 月 20 日) を後援した。

▼九州沖縄支部

1. 役員会および幹事会

・第 1 回役員会

開催日：平成 29 年 3 月 14 日（火）

場 所：熊本大学黒髪南キャンパス研究棟 IV

内 容：平成 28 年度支部活動報告・会計報告、次年度事業計画、平成 29 年度支部役員、その他
※役員会・幹事会・各種委員会審議は、随時、電子メールにより実施

2. 総会

開催日：平成 29 年 3 月 17 日（金）

場 所：熊本大学黒髪南キャンパス工学部 2 号館

内 容：総会

※平成 28 年度は熊本大学で年會が開催されたため、支部発表会は開催せず

3. 支部ニュースレターの発行

No.25（平成 28 年 6 月）

4. MS 講習会 in 九州

日本水環境学会主催、九州工業大学と日本水環境学会九州沖縄支部共催、分析化学学会九州支部後援により、マススペクトル（MS）分析の基礎講習会を実施した（平成 28 年 7 月 22 日（金））。講習会では、3 名の MS 専門家による講義と MS の代表的名 3 社による技術報告が行われた。大学関係者や企業関係者を中心に合計 51 名の参加があった。

5. 現地見学会

日本水環境学会熊本年会において、「熊本の水をめぐる」現地見学会を企画した（平成 29 年 3 月 16 日（木））。見学会では、鼻ぐり井手（加藤清正が慶長 13 年（1608 年）に造った農業用水路で現在も使用されている）、健軍水源地（日本最大級の自噴井戸がある）、東部浄化センター（国内最大級のアナモックス実証プラントがある）を巡った。

6. 熊本年会支部企画セッション

日本水環境学会熊本年会において、「九州沖縄の水環境」をテーマに研究発表セッションを企画した（平成 29 年 3 月 16 日（木））。全国から 12 件の研究発表があった。

7. 支部表彰

・水環境貢献賞：肥後の水とみどりの愛護基金（代表 甲斐隆博様）「くまもとの水とみどりの保全にかかる啓発・助成と実践活動」

8. 本部表彰への推薦

平成 29 年度本部表彰の水環境文化賞へ肥後の水とみどりの愛護基金（代表 甲斐隆博様）「くまもとの水とみどりの保全にかかる啓発・助成と実践活動」を一候補とする。

平成 29 年度支部連絡名簿

支部名	支 部 長	幹 事 長
北海道	松井 佳彦 〒060-8628 北海道大学大学院工学研究院 札幌市北区北十三条西 8 丁目 Tel : 011-706-7280 Fax : 011-706-7280 E-mail : matsui@eng.hokudai.ac.jp	佐藤 久 〒060-8628 北海道大学大学院工学研究院 札幌市北区北十三条西 8 丁目 Tel : 011-706-6277 Fax : 011-706-6277 E-mail : qsatoh@eng.hokudai.ac.jp
東北	中山 正与 〒982-8577 東北工業大学工学部都市マナジメント学科 仙台市太白区八木山香澄町 35-1 Tel : 022-305-3537 Fax : 022-305-3501 E-mail : nakayama@tohtech.ac.jp	山田 一裕 〒982-8577 東北工業大学工学部環境エネルギー学科 仙台市太白区八木山香澄町 35-1 Tel : 022-305-3933 Fax : 022-305-3901 E-mail : yamakazu@tohtech.ac.jp
関東	村上 和仁 〒275-8588 千葉工業大学先進工学部 生命科学科 千葉県習志野市津田沼 2-17-1 Tel : 047-478-0455 Fax : 047-478-0474 E-mail : kazuhito.murakami@p.chibakoudai.jp	蛭江 美孝 〒305-8506 国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター 茨城県つくば市小野川 16-2 Tel : 029-850-2725 Fax : 029-850-2560 E-mail : ebie.yoshitaka@nies.go.jp
中部	池本 良子 〒920-1192 金沢大学理工研究域環境デザイン学系 金沢市角間町 Tel : 076-234-4641 Fax : 076-234-4641 E-mail : rikemoto@se.kanazawa-u.ac.jp	柿本 均 〒920-1154 石川県保健環境センター環境科学部 金沢市太陽が丘 1-11 Tel : 076-229-2011 Fax : 076-229-1688 E-mail : h-kaki@pref.ishikawa.lg.jp
関西	大久保卓也 〒522-8533 滋賀県立大学環境科学部生物資源管理学科 滋賀県彦根市八坂町 2500 Tel : 0749-28-8321 Fax : 0749-28-8477 E-mail : okubo.t@ses.usp.ac.jp	矢吹 芳教 〒583-0862 大阪府立環境農林水産総合研究所環境研究部 大阪府羽曳野市尺度 442 Tel : 072-958-6551 Fax : 072-956-9691 E-mail : yabuki@mbox.kannousuiken-osaka.or.jp
中国・四国	治多 伸介 〒790-8566 愛媛大学大学院農学研究科 松山市樽味 3-5-7 Tel : 089-946-9963 Fax : 089-946-9963 E-mail : haruta@agr.ehime-u.ac.jp	野見山 桂 〒790-8577 愛媛大学沿岸環境科学研究センター 松山市文京町 2-5 Tel : 089-927-8196 Fax : 089-927-8196 E-mail : keinomi@agr.ehime-u.ac.jp
九州沖縄	川越 保徳 〒860-8555 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 熊本市中央区黒髪 2-39-1 Tel : 096-342-3549 Fax : 096-342-3507 E-mail : goshi@kumamoto-u.ac.jp	濱 武英 〒860-8555 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 熊本市中央区黒髪 2-39-1 Tel : 096-342-3495 Fax : 096-342-3507 E-mail : hama@kumamoto-u.ac.jp

平成 28 年度研究委員会活動報告

△嫌気性微生物処理研究委員会

1. 研究委員会名

嫌気性微生物処理研究委員会

2. 会員数

52 人

3. 主な活動内容

嫌気性微生物を活用した資源・エネルギー回収技術(有機酸、水素、メタン回収および回収物の利用法)に関する最新の研究動向および応用展開に関して、研究者および実務者が意見交換・情報共有を行うと共に、得られた研究等成果の社会発信を目的として活動している。平成 28 年度には、9 月 13 日に開催された第 19 回日本水環境学会シンポジウムにおいて、嫌気性微生物処理の技術開発と実用化の最新動向と題するセッションを開催し、11 名の演者に発表いただいた。下水汚泥や生ごみを対象とした嫌気性消化・嫌気性膜分離法による処理、産業排水を対象とした UASB 法による処理、後処理としての ANAMMOX 法等を中心とした最新の研究成果について意見・情報交換を実施した。

4. 今後の予定

平成 29 年 9 月 26 日午後、第 20 回日本水環境学会シンポジウムにおいて「省エネ・低炭素化に資する嫌気性微生物処理技術」と題するセッションを開催する予定である。

△MS 技術研究委員会

1. 研究委員会名

MS 技術研究委員会

2. 会員数

約 60 名

3. 主な活動内容

環境中の微量化学物質の分析方法としては GC/MS が最も広く用いられてきたが、化学物質排出移動量届出制度 (PRTR) の確立、POPs 条約の批准、EU の RoHS 指令等により、様々な化学物質を精度良く測定する必要性が増加している。近年、PFOS/PFOA 等の有機フッ素化合物 (PFCs)、医薬品、化粧品等のパーソナルケア製品に含まれる物質 (PPCPs) による水環境汚染が問題視されてきている。このような難揮発性物質の分析には、従来の GC/MS に加えて LC/MS が必須の装置となり、さらに最近では TOF-MS、Orbitrap-MS や GC×GC/MS を活用した網羅分析が急速に普及しつつある。本研究委員会は、日々進歩する MS 技術を環境微量分析等へ活用し、普及させることを目的とする。

平成 28 年度は 9 月 14 日開催のシンポジウムで「MS 技術を応用した環境リスク把握」のテーマで、口頭およびポスター発表に加えて網羅分析に関する招待講演を行った。昨年に引き続き平成 28 年 4 月 15 日の東京を皮切りに、PCB 講演会を 5 回共催するとともに、第 9 回国際